

令和

8

年度

事業者番号

0052

事業所番号

005200

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 規模判定エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所（合算）
A	

(2) 事業所及び事業内容

代 表 事 業 所 名	志木地区衛生組合 新座環境センター		前年度における事業所数	3
代 表 事 業 所 所 在 地	市 区 町 村	新座市		
	字 ・ 地 番	大和田3丁目9番1号		
当該事業所を含む事業所の名称 （※Bテナント等の場合のみ記入）				
産 業 分 類 名（中 分 類）		88 廃棄物処理業		
分 類 番 号（中 分 類）		88		
事 業 活 動 の 概 要		主な業務：一般廃棄物の中間処理 敷地面積：10863.61㎡ 東工場 建築延面積:3245.10㎡ ごみ焼却炉:90 t /24H		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第4計画期間の削減目標

計 画 期 間		7	年度	～	11	年度
削減目標	目標設定ガス (必須)	基準となる 排 出 量	6,293	t-CO2	基準となる 原 単 位	t-CO2/ t /年
		平成25(2013)年度の排出量（6,293t-CO2）を基準として、削減計画期間の平均削減率を6%（378t-CO2）とする。				
	その他ガス	平成25(2013)年度の排出量（40,550t-CO2）を基準として、削減計画期間の平均削減率を3%（1,217t-CO2）とする。				

(2) 第5計画期間の削減目標

計 画 期 間		12	年度	～	16	年度
削減目標	目標設定ガス (必須)	基準となる 排 出 量		t-CO2	基準となる 原 単 位	
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	志木地区衛生組合 新座環境センター	新座市大和田3丁目9番1号
2	志木地区衛生組合 富士見環境センター	富士見市大字勝瀬480番地
3	(仮称) 志木環境センター用地	志木市下宗岡1丁目7209番1他
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

※ 年度の途中で開設又は閉鎖された事業所も、それぞれ1件として計上します。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間のエネルギー使用量の推移

	計画期間				
	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
原油換算エネルギー使用量(kL)	2,508				
規模判定エネルギー使用量(kL)					

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計画期間				
		令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
目標設定ガス	基準 6,293	2,888				
その他ガス	前年度からの増減（％）	—				
	基準となる排出量に対する削減率（％）	54.1				
	目標設定ガス以外のCO ₂	46,832				
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化硫黄					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		49,720				

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（目標設定ガス）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計画期間				
		令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
目標設定ガス排出量原単位	基準	0.0411				
前年度からの増減（％）		—				
	基準となる原単位に対する削減率（％）					
活動規模の指標単	単位					
可燃ごみの焼却量	t/年	70,331.00				

（４）目標設定ガス排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和 7 年度 (2025 年度)	電気の排出係数を、温対法に基づき作成した第六期志木地区衛生組合地球温暖化防止実行計画で定めた係数（0.25kg-CO2/kwh）を使用したことにより排出量が減少した。
令和 8 年度 (2026 年度)	
令和 9 年度 (2027 年度)	
令和10年度 (2028 年度)	
令和11年度 (2029 年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	360700	ポンプ、ファン、 ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	既存プラントの整備等の更新時期には、 モーター、空調機器、照明機器等を省エ ネ型を採用する。		R7	
2	320100	ボイラー、工業 炉、蒸気系統	32_燃料の燃焼の合理 化に関する措置	ごみのかく拌作業を重視し、効率のよい 運転に努める。		R7	
3	320100	ボイラー、工業 炉、蒸気系統	32_燃料の燃焼の合理 化に関する措置	中央制御盤(DCS)による燃焼制御(第3計 画期間も継続)		R7	
4	330200	空気調和設備・換 気設備	33_加熱及び冷却並び に伝熱の合理化に関 する措置	中央操作室のボイラー監視画面により制 御(第3計画期間も継続)		R7	
5	320300	ボイラー、工業 炉、蒸気系統	32_放射・伝熱等によ る熱の損失の防止に 関する措置	日常の機器点検の実施(第3計画期間も継 続)		R7	
6	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に 関する措置	定期点検、オーバーホールの実施(第3計 画期間も継続)		R7	
7	330200	空気調和設備・換 気設備	33_加熱及び冷却並び に伝熱の合理化に関 する措置	空調機器保守点検の実施(第3計画期間も 継続)		R7	
8	350600	受変電設備、配電 設備	35_抵抗等による電気 の損失の防止に関す る措置	日常の機器点検の実施(第3計画期間も継 続)		R7	
9	360700	ポンプ、ファン、 ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	日常の機器点検の実施(第3計画期間も継 続)		R7	
10	370700	電動力応用設備、 電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	日常の機器点検の実施(第3計画期間も 継続)		R7	
11	390700	昇降機	39_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	定期点検の実施(第3計画期間も継続)		R7	
12	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	アースグリーン活動(各運転管理業者と とにリーダーを置き、省エネを意識した 14項目を毎月、個人単位で取組状況を 事業系可燃ごみ収集車両のごみ質検査の 実施回数を増やし、再資源可能な廃棄物 が混入していないか検査し、不適切な場 搬入されたごみの中から再生可能なもの を回収し、破碎処理や焼却量の削減を行 う。(第3計画期間も継続) その他のガス削減の実施。削減達成が困 難な場合、その他のガスの削減量の充当 や排出量取引を活用し目標達成に努めま		R7	
13	490200	その他	49_その他の削減対策			R7	
14	490200	その他	49_その他の削減対策			R7	
15	490200	その他	49_その他の削減対策			R7	

※ 「業務部門」は11から18番台、「産業部門」は31から49番台から選択してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価
（※希望者のみ記載）

自由記述欄